

議題（2）令和5年度事業計画（案）及び当初予算について

基本方針① 相互に連携し利用しやすい公共交通ネットワークの形成

事業①－1－1 鉄道の維持・活性化

- ・公共交通の骨格を形成する名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）の存続に向け、西尾市、蒲郡市、愛知県からなる名鉄西尾・蒲郡線対策協議会にて協議を行います。
 - 対策協議会を開催し、現状の共有と支援金の支払い、路線の存続について協議する
- ・西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団を中心とした利用促進活動を展開するとともに、観光振興の観点から駅及び周辺の魅力アップにより県内外からの誘客を推進します。
 - 市制施行70周年を記念した企画列車の運行を実施する
 - 市民が主催するイベントで電車の車両を活用できる特別会場を提供する
 - にしがま線の駅名の愛称を命名、マイレール意識を醸成する
 - 鉄道愛好家を中心に地域外からの誘客を促進する取り組みを展開する
 - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する取り組みとして、夏休み「おでかけきっぷ」を実施する
 - 市外からの誘客のため、でんしゃまつり（岡崎市）などでPR活動を行う
 - トンボロ駅伝の開催と観光プロモーションを実施する
 - 10人以上の団体や小学生以下の親子を対象とした運賃補助制度について、個別配布などによるPRに力を入れ、にしがま線の利用機会を創出する
 - InstagramやFacebook等のSNSを利用して沿線の魅力を発信する
 - 駅を発着点とし沿線を巡るウォーキングイベントを開催する
 - 愛知大学地域貢献事業「REGO」との協働による「御駅印」の制作・配布する
- ・鉄道への乗換可能なパーク＆ライド駐車場、サイクル＆ライド駐輪場の整備と利用促進、バリアフリーの促進、レンタサイクルの実施等により、鉄道を利用しやすい環境を整備します。
 - 駅トイレや駅待合など駅周辺環境の整備し、駅利用者や地域住民の利便性向上を図る
 - 福地駅にパーク＆ライド駐車場を整備する
 - 西尾駅・吉良吉田駅・西幡豆駅・東幡豆駅において、レンタサイクルを整備する
- ・新たな企業立地に対して最寄り駅とのバス等によるアクセスを強化するため、駅前広場の整備等を行います。
 - 上横須賀駅ロータリーの整備を進める
- ・地域の拠点としての駅の整備について検討します。
 - 上横須賀駅ロータリーの整備を進める【再掲】
- ・名鉄西尾線の発着便の増強や将来的な複線化などの名古屋駅や豊橋駅へのアクセス向上に向けた調査研究を進めます。

事業①－2－1 バス交通サービスの充実

- ・公共交通の機能別階層に基づいて、現行のバス運行経路・ダイヤ等を必要に応じて見直

し、運行サービスの充実を図ります。

- 一色地区における持続可能な公共交通の在り方について検討し、結論を出す
- 非接触の推進及びドライバーの負担軽減を推進する
- サイクル&ライド駐輪場を整備し、バス利用を促進する

・渡船とバスとの接続を強化し、渡船の利便性向上を図ります。

- 繁忙期における渡船の最終便に接続するバスの運行を検討する

・鉄道駅や複数のバス路線が接続する交通結節点において、鉄道とバス、バス相互、鉄道・バスといこまいか一等の接続利便性の向上を図ります。

- 駅トイレや駅待合など駅周辺環境の整備し、駅利用者や地域住民の利便性向上を図る

【再掲】

- 名鉄東部交通バスのスクールパスで六万石くるりんバスへ乗車を可能にする

・市外のバスネットワークとの接続を強化し、市外への移動利便性の向上を図ります。

事業①－２－２ いこまいか一のサービス充実

・西尾・一色地区では、自宅と小学校区内の拠点的なバス停等、吉良・幡豆地区では、地区内の駅・商業施設・医療施設等を目的地として、日常生活の移動手段を確保しています。

- 一色地区における持続可能な公共交通の在り方について検討し、結論を出す【再掲】

・目的地は、利用実態、市民ニーズ及び地区公共交通協議会での協議を踏まえて、西尾市地域公共交通活性化協議会での合意により見直し等を行います。

事業①－２－３ タクシーサービスの利便性向上・活性化

・ドア・ツー・ドアのタクシーの特性を活かして、交通手段の確保が困難な高齢者や障がい者等の移動支援や、観光での活用に取り組みます。

- タクシーを活用した高齢者や障害者、妊婦等の移動支援を実施する
- 選挙における投票所への移動が困難な方に投票日当日に自宅から投票所までを往復する無料タクシーを実施する

・セダン車両による一般のタクシーを利用できない人の移動を確保するため、車いすのまま乗車できるなど、高齢者や障がい者等に配慮された誰もが使いやすいユニバーサル・デザインタクシーの導入を促進します。

- ユニバーサルデザインタクシーの導入を補助する（10万円/台）

・愛知県タクシー協会、交通事業者、地方自治体等からなる西三河南部交通圏タクシー準特定地域協議会の策定する計画に基づき、タクシー事業の活性化に取り組みます。

事業①－３－１ 次世代交通システム等の導入に向けた取り組み

・市中心部や鉄道・バス端末交通への活用を視野に、自動運転などの新技術を活用した次

世代交通システムの導入に向けて、国・県などと協力して調査・研究を行います。

○先進地視察を行うなど技術開発や自治体等における活用の動向把握に努める

・環境への負荷の少ない次世代自動車等の普及促進を図ります。

○電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車を購入し、新車登録した方を対象に補助金を交付する

・地域特性に合わせて、グリーンスローモビリティなどの新たな移動形態の導入について調査・研究します。

●佐久島において、グリーンスローモビリティの実証実験を実施する

・移動のニーズに対応して、様々な移動手段をサービスとしてトータルに提供する MaaS への対応を進め、楽しく便利に移動できる環境を整備します。

○CentX への地域情報の掲載依頼を実施する

○民間路線も含めた市内全バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載する

○経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施する

基本方針② 交流と活性化を推進

事業②-1-1 キャッシュレスの推進

・六万石くるりんバス、いっちゃんバスでは、現金等のほかに、スマホを使ってPayPay・LINEPayで支払いすることができ、また、障害者手帳アプリ（ミライロID）も利用できます。

○PayPay、LINE Payによるキャッシュレス支払いに対応する

○佐久島渡船においても障害者手帳アプリ（ミライロID）による割引を適用する

・ふれんどバスは、交通系ICカードの利用が可能ですが、名鉄東部交通バスは利用できず、現金等のみです。

○名鉄東部交通バスにおいて、交通系ICカードの導入を前向きに検討する

・このように事業主体によってキャッシュレスの有無、方法が異なっていることから、キャッシュレスの共通化など、より利用しやすいキャッシュレスの仕組みを推進します。

・スマホのアプリを活用した「共通一日券」や「企画切符」等の発行により観光客の利用促進を図ります。例えば、バス乗車券と商業施設等での割引などがセットになった電子切符などの導入を検討します。

事業②-1-2 「見える化」の推進

・現在、六万石くるりんバスといっちゃんバスについては、バスロケーションシステムに

より、バス車両の位置、バス車内の混雑状況をリアルタイムに確認できます。また、ふれんどバスについては、名鉄バスロケーションシステムで運行状況を確認できます。

- ・目的地までの検索については、スマホの地図アプリでも可能となっています。
 - 民間路線も含めた市内全バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載する【再掲】
 - 経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すぱあと）と連携し、路線情報の見える化を実施する【再掲】
- ・公共交通を利用しやすくなる「見える化」の拡大を推進します。
 - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂する
 - 作成した公共交通マップを地図アプリケーション「Avenza Maps」へ反映する
 - バスロケーションシステム、混雑状況配信システムによりリアルタイム情報を提供する
 - バスロケーションシステムの導入による効果を検証するとともに、GTFS リアルタイムへの対応を検討する

事業②－２－１ 周遊観光の推進

- ・公共交通を使って市内の観光資源を周遊するネットワークの形成、その情報提供などにより、観光客が手軽に公共交通を利用できる環境を整備します。
 - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する取り組みとして、夏休み「おでかけきっぷ」を実施する
 - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂する【再掲】
- ・外国人観光客への対応についても実施します。
 - パンフレットやホームページの多言語対応を実施する
- ・パンフレットの作成、スマホを使った目的地検索と公共交通チケットの入手など、利便性の高い仕組みを構築します。

事業②－２－２ まちづくりと連携した施策の実施

- ・鉄道やバスを活用した施策・イベント等を企画し実施します。
 - 名古屋鉄道が主体となって取り組む「のりものカード」に参画する
 - 市制施行 70 周年を記念した企画列車の運行を実施する【再掲】
 - 市民が主催するイベントで電車の車両を活用できる特別会場を提供する【再掲】
 - にしがま線の駅名の愛称を命名、マイレール意識を醸成する【再掲】
 - 鉄道愛好家を中心に地域外からの誘客を促進する取り組みを展開する【再掲】
 - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する取り組みとして、夏休み「おでかけきっぷ」を実施する【再掲】
 - 六万石くるりんバス車内モニターおよび車両側面に、地元企業等の広告を掲載
 - 地域のイベントや公共施設、小学校などと連携した利用促進策の実施
- ・イベント等の機会をとらえて、公共交通機関の利用を働きかけます。

○地域のイベントや公共施設、小学校などと連携した利用促進策の実施【再掲】

- ・地域のまちづくり活動との連携（地域のイベントでのバス活用、バス運行道路の清掃活動等）、小中高等学校のボランティア活動等との連携（生徒によるバス停のベンチ設置等）について関係者と協議し、協力して実施します。

○地域のイベントや公共施設、小学校などと連携した利用促進策の実施【再掲】

○地域の学校が実施する鉄道利用促進イベント等への協力

- ・施設等が保有する車両の有効活用、商業者等と連携したバス運行の実現可能性について検討します。

事業③－１－１ エコ通勤・通学の取り組みの実施

- ・事業所のエコ通勤の取り組みを支援します。エコ通勤に意欲のある事業所へのヒアリングなどを通して、実施のための課題などを把握し、エコ通勤を実施するための施策に西尾市と事業所が連携して取り組むための仕組みをつくります。

- ・エコ通勤を実施する事業所の拡大を図るため、事業所への時刻表の配布等による PR 活動を行います。

- ・通学において、自家用車で送迎から公共交通利用への転換を促すとともに、高校生が社会人となったときにも公共交通を使っていただくため、学校への PR 等によりエコ通学を推進します。

○高校別に公共交通を利用した通学方法案内や個別時刻表を掲載したパンフレットを作成し、エコ通学を推進する

○名鉄東部交通バスのスクールパスで六万石くるりんバスへ乗車を可能にする

事業③－１－２ 情報提供

- ・公共交通のバス停・ダイヤの変更等に合わせて、路線、時刻表及び乗継情報等を掲載した総合的な公共交通時刻表を発行し、市民、駅や公共施設等へ配布します。

○市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂する【再掲】

- ・バス停やダイヤの変更に合わせて、検索サイトへの情報提供を行います。

○民間路線も含めた市内全バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載する【再掲】

○経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施する【再掲】

- ・広報、ホームページ、SNS など多様な媒体を活用して公共交通の情報提供を行います。

●広報にしおや市ホームページ、外国人向け生活情報誌など多様な媒体を活用して、バスの乗り方や公共交通に関する情報を発信する

○民生委員や地域包括支援センター等との連携により、高齢者等を対象としたバスの乗り方やいこまいかーの利用方法の講座を地域に出向き実施する

○個人のお出かけに合わせたマイ時刻表作成サービスを実施する

○バスロケーションシステム、混雑状況配信システムによりリアルタイム情報を提供す

る【再掲】

事業③-2-1 地区公共交通協議会の運営

- ・市内の地区ごとに住民参加による地区公共交通協議会を設置し、この協議会で地区内の公共交通ネットワーク、運行方法等について検討し、西尾市との協議により実行する体制を整えています。
 - 一色地区における持続可能な公共交通の在り方について検討し、結論を出す【再掲】
- ・一色地区では地区内を巡回する「いっちゃんバス」を運行し、吉良・幡豆地区では、既存の公共交通との連携や交通事業者への影響等を配慮した上で「いこまいかー」の目的地の拡大を行っています。
- ・これらの地区では、利用者数等の目標の設定、PDCA サイクルに基づく評価、利用実態に応じたバスルート・バス停の変更及びいこまいかーの目的地の見直し等を行うため、地区公共交通協議会を継続して運営します。

その他事業

- 協議会を年4回程度開催するとともに、目標指標の達成状況、西尾市地域公共交通計画で実施する事業の進捗状況、最低維持基準の達成状況等を管理し、PDCAを実施する。

令和 5 年度西尾市地域公共交通活性化協議会 当初予算（案）

収入の部

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	摘 要
負担金	7,895,400	8,748,600	▲853,200	西尾市負担金
雑収入	1	1	0	預金利息
繰越金	2,092,061	1,000,000	1,092,061	
合 計	9,987,462	9,748,601	238,861	

支出の部

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	摘 要
報償費	509,200	635,000	▲125,800	委員謝礼（4回分）
事業費	9,478,262	9,113,601	364,661	・印刷製本費（時刻表、マップ、定期券、おでかけきっぷ） ・音声修正案内 ・バスロケーションシステム運用費 ・おでかけきっぷ運賃補填費 ・のりものカード ・UD タクシー導入補助
合 計	9,987,462	9,748,601	238,861	

※科目間の流用を認めるものとする。